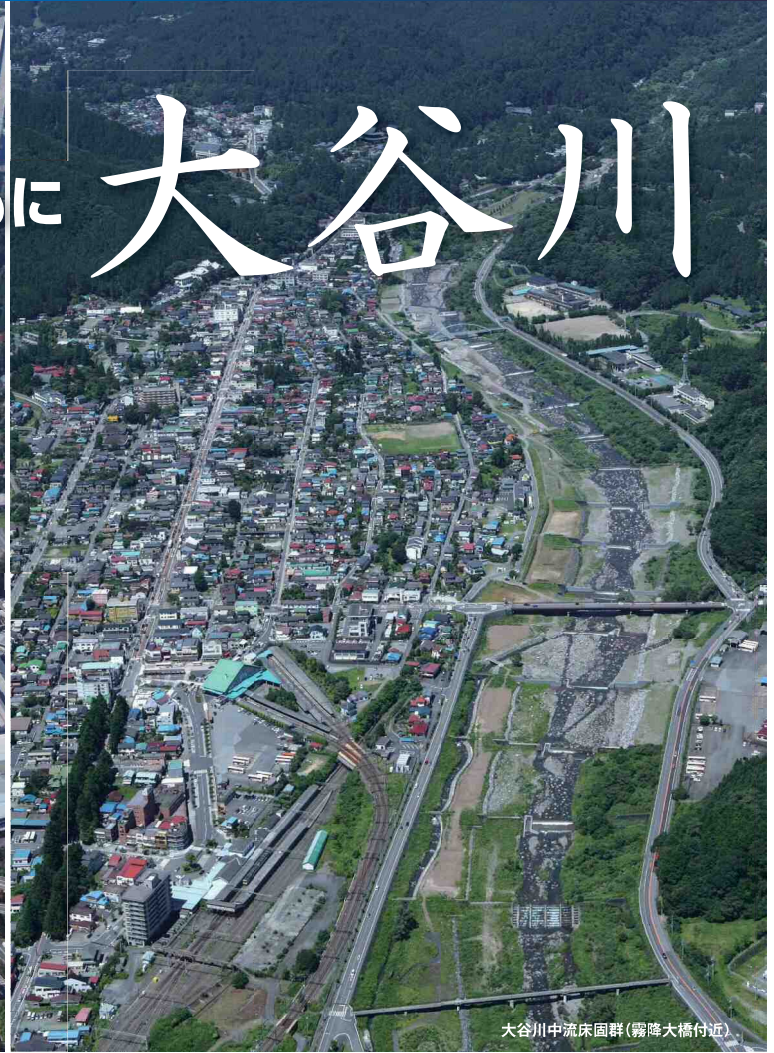


親しめる水辺づくりとともに

大谷川



大谷川上流床固群(清滝付近)

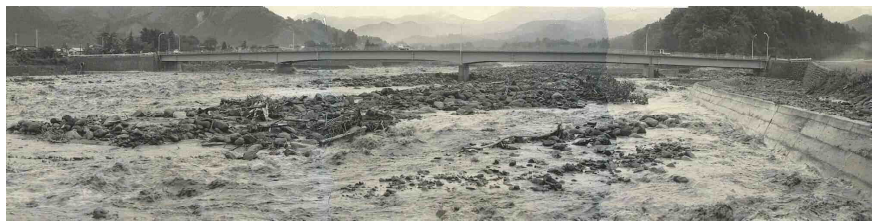


大谷川中流床固群(霧降大橋付近)

だい や がわ と こ が た め ぐ ん
大谷川床固群

華厳の滝に源を発する大谷川は、古くから土石流や洪水氾濫による災害が頻発していました。それを防ぐため、大谷川床固群の整備がスタートしたのが、大正8年(1919)のこと。現在までに130基もの施設を整備していますが、これは国内でも屈指の規模を誇るものです。

大谷川床固群によって安全性が向上し、浸水していた場所が公園や運動場などに有効利用できるようになりました。親水護岸や魚道も整備し、人にも生きものにもやさしい環境を提供しています。



昭和41年(1966)台風26号時



大谷川グリーンパーク



平成23年(2011)台風20号時



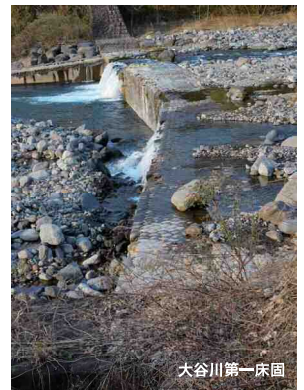
日光だいや川公園のしだれ桜



親水護岸の魚道



日光だいや川公園



大谷川第一床固



さらに詳しい
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭に立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉